

インカレスプリント代表選考会提言書

2018 年度 ICS 代表選考会実行委員会実行委員長

上妻紅音

今年度、インカレスプリント代表選考会実行委員を務めさせていただきました。今後の選考会運営について実行委員会で話し合う機会があったため、意見を述べさせて頂きたく今回提言書を提出いたします。

1. 運営者の決定と動きだしの時期について

今年度、12月のミドル代表選考会においてじゃんけんで実行委員長・運営責任者・競技責任者の三役を決定し、運営に向けて動き出した。しかし、アドバイザーなど他の重役・トレインや日程などは、(第1回総会である)2月の学連総会での話し合いが必要と言うこともあり、時間がかかった。結果的に、本格的に運営(渉外活動)を開始したのは3月頃になってしまった。

年明けには重役・トレイン・日程が総会で話し合われた上で確定しており、渉外を始められるようになっていくことが望ましかったように考えられる。(確定できない場合においては、次年度役員に日程やトレインの決定を一任するように話し合いをしておく必要がある。)

2. 公認化について

今年度の選考会において、当初は公認Sの大会として開催を試みており規定である6ヶ月前には間に合わなかったが、仮申請書を一度提出した。

しかし、申請書提出後競技責任者を変更し、地図調査などのスケジュールや他団体との連携も未確定な部分が多く、その上で申請期間も守られていないということもあり受理されず、公認化を断念した。

選考会を公認化することを今後予定するならば、申請に必要な情報(責任者三役・イベントアドバイザー・トレイン・日程など)を開催の6ヶ月前には確定させなければならず、そのためにも動き出しの時期の見直しをする必要があると思われる。

以上、今年度の実行委員から来年度以降の運営にむけての提言とさせていただきます。